日立ビルトイン電気オーブンレンジ

設置工事説明書

型式 **MRO-SK201S** (シルバータイプ)
型式 **MRO-SK201B** (ブラックタイプ)

工事される方へのお願い

- この機器の電源は単相200V仕様です。
  設置工事の前に電源電圧をご確認ください。
- この製品の排気は同時に設置するIHクッキングヒータを介して排気されます。
  4項の適応機種一覧表で機種を御確認ください。

1.安全のためお守りください

設置をする前に、この設置工事説明書をよくお読みになり、正しく工事をしてください。

ここに示した注記事項は、

表示内容を無視して誤った使いかた(設置工事)をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

「注意や警告を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」の内容です。

しなければならない「強制」内容のものです。

⚠警告

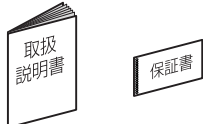
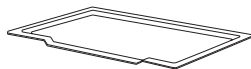
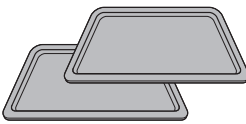
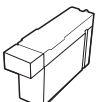
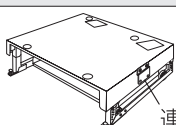
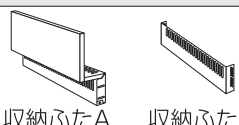
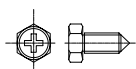
設置工事は、この「設置工事説明書」に従って、確実に行う(ブレーカーは「切」にして行ってください)
設置に不備があると、漏電・火災の原因

単相200V－20A以上の専用回路とし、漏電しゃ断器を設置する
専用回路でないと、配線部が異常発熱する恐れがあり、感電・火災の原因

分解禁止
改造をしない。また、サービスマン以外の人は分解したり修理したりしない
火災・感電・けが の恐れ

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因

アース線を接続せよ
接地工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って 必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
漏電時に感電の恐れ

⚠注意

本機器に組み合わせるIHクッキングヒーターの機種を確認する

運転中は、ドア、排気口など 高温部に触れない
やけどの恐れ

2.設置工事をされる方へのお願い

●電源電圧が100Ｖで工事されていると、表示部に「C61」が表示され加熱できません。必ず、単相200Ｖで電気工事をしてください。三相200Ｖでは故障する場合があります。
●この設置工事説明書は、取扱説明書、保証書、角皿2枚、テーブルプレート、焼網とともに必ずお客様にお渡しください。
●工事完了後は、必ず「設置工事完了後の確認」を行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
●次の付属品を確認してください。

取扱説明書および保証書	テーブルプレート(セラミック製)	角皿(黒ホーロー)(2枚)	焼　網	給水タンク
取扱説明書　保証書				
付属品ストッカー	**収納ふたAおよび収納ふたB**	**排気筒**	**固定用ボルト（2本）**	**ネジ（1本）**
連結金具付	収納ふたA　収納ふたB			

注意

電源電線およびアース線は、差込プラグを外して直結しない
漏電やショートによる感電・発火の原因

差込プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因

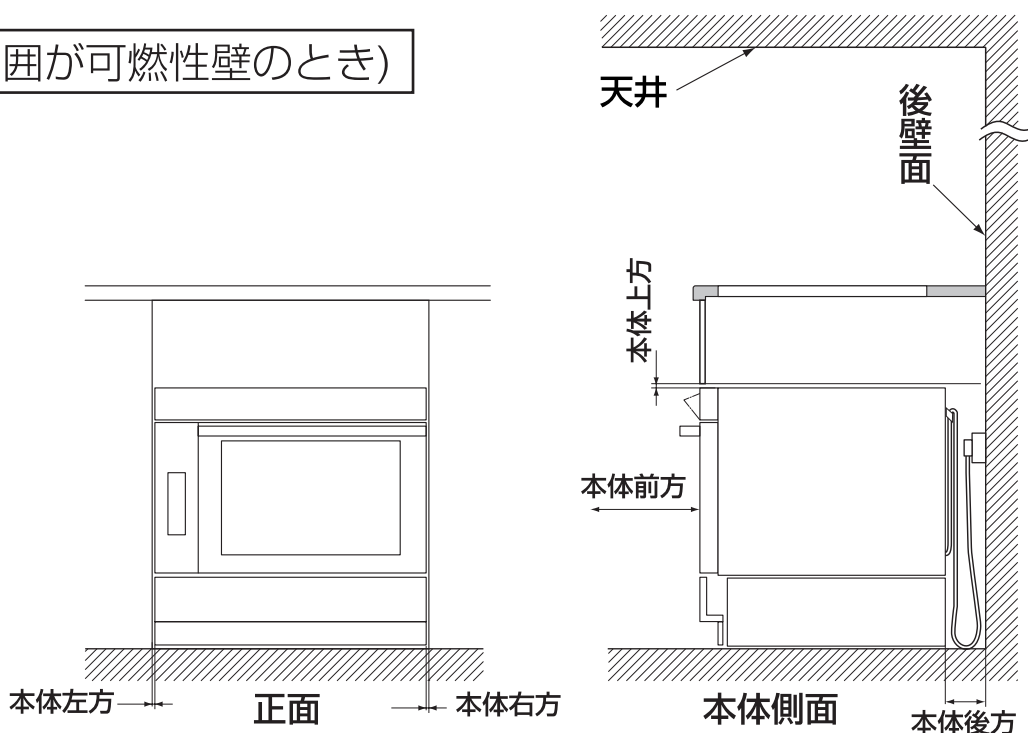
●設置工事は、けが防止のため、保護手袋を着用してください。

3.設置上のお願い

※火災予防条例、電気設備技術基準59条、建築基準法などに従って設置してください。
※ビルトイン電気オーブンレンジをトールユニットなどに直接組み込まないでください。

防火上の離隔距離(周囲が可燃性壁のとき)

（単位：cm）

方　向	離隔距離
本体左方	0以上(密着可)
本体右方	0以上(密着可)
本体後方	5以上
本体上方	——
本体下方	0(脚を直置き)
本体前方	——

●本体の一部が、家屋の金属部(壁中のメタルラス等)や家具(システムキッチン等)の金属部と接触しないようにしてください。また、接触する恐れのある場合は、絶縁テープ等で電気的に接触しないようにしてください。（電気設備技術基準59条により義務づけられています。）

●本体を設置する台所が建築基準法に定める〔内装制限を受ける調理室〕に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

その他、本体設置の際に守っていただきたいこと

●水平で安定した場所に設置してください。
●湿気が少なく、十分換気のできるところに設置してください。
●本体周辺や上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など 燃えやすいものを置かないでください。
●本体をタイルやモルタルで塗りこまないでください。
●ワークトップは、熱硬化樹脂化粧版（JIS K6903）と同等の材料をお使いください。
●ワークトップの表面がニス引きのものは、変色しますので使わないでください。
●設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

4.適応するIHクッキングヒーター

このビルトイン電気オーブンレンジは、次の表に指定の日立IHクッキングヒーター(ビルトインタイプ)との組合わせに限り設置可能となります。(2007年3月現在。その後の機種については販売店にお問い合わせください。)

トッププレート幅 ＼ 本体色	トッププレート幅：60cm	トッププレート幅：75cm
シルバータイプ	HTB-A8S HTB-A8FS HT-A9TS HT-A9TFS	HTB-A8WS HTB-A8WFS HT-A9TWS HT-A9TWFS HT-A20WS HT-A20WFS
ブラックタイプ	HTB-A8	

ご注意

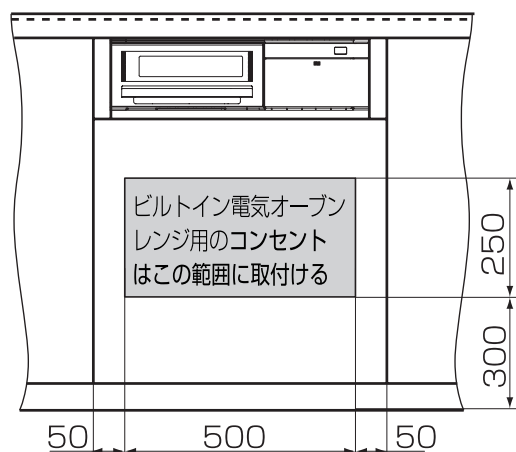
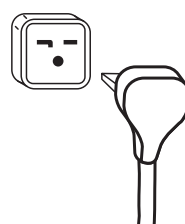
ビルトイン電気オーブンレンジは、IHクッキングヒーターとの排気筒接続工事を必要とするため、次の点にご注意ください。
●**9.外形寸法図**中「225」のキッチン組込み時の寸法は、225～230mmを守って排気筒接続工事の前に寸法をご確認いただき、異なる場合は付属品ストッカーの高さで修正をお願いします。➔ P.4

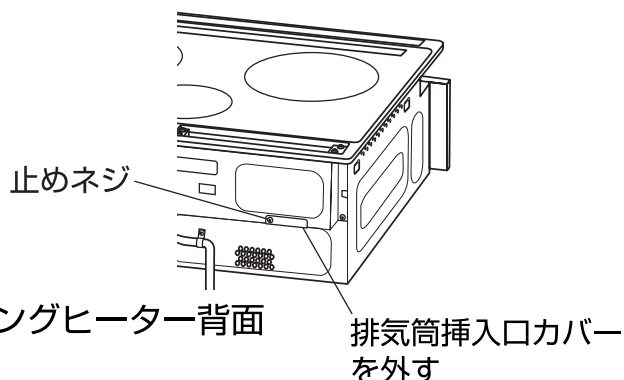
5.レンジフード連動機能について

● このビルトイン電気オーブンレンジの運転/停止に連動して、レンジフードが運転停止する機能です。
●スチーム、ナノスチーム、オーブン、グリル機能を使う場合に連動します。
●連動に対応する機種は、日立IH対応レンジフードファン「型式 **HE-A900SA**」です。
(2007年3月現在。その後の機種については販売店にお問い合わせください。)

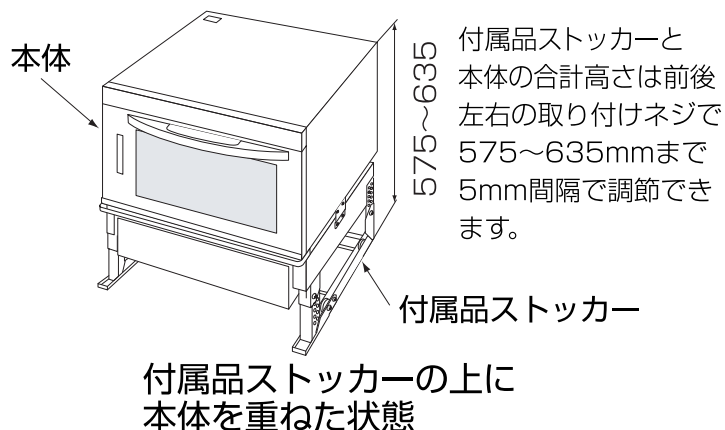
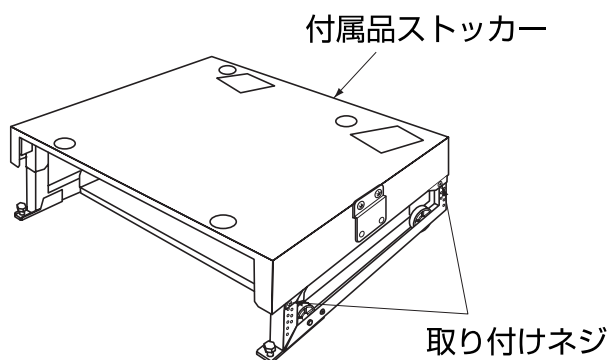
6.電気工事および接地工事 必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

●電気工事や接地工事は、「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。
●電源は単相200V、容量20A以上の漏電しゃ断器付き専用回路としてください。
●電源電線およびアース線は、差込プラグを外して直結しないでください。
●D種接地工事を行ってください。(アース付きコンセントをご使用ください。)

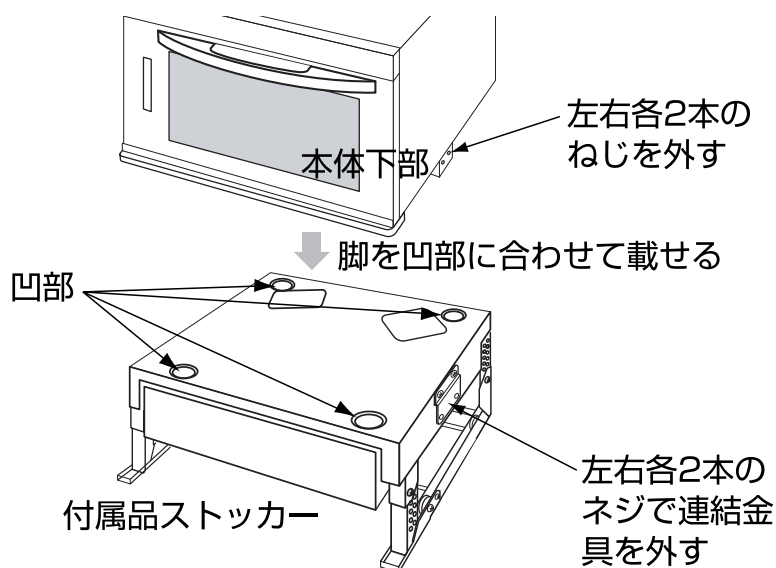
《コンセントの取り付け位置》

コンセントは、差込プラグを差し込んだとき、コードが下側になるよう取付けてください。

7.本体の設置

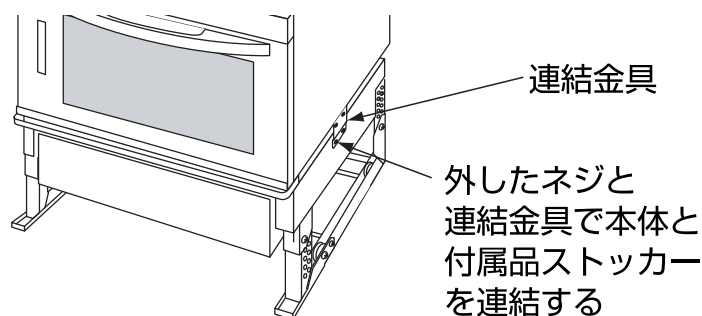
ビルトイン電気オーブンレンジを設置する前に、IHクッキングヒーターの背面に取り付けてある排気筒挿入口カバーを外し、止めネジを同じ場所に止めます。

1 本体の高さ調節

●本体の高さは、 付属品ストッカーの脚の高さで調節します。
付属品ストッカーと本体の合計高さは前後左右の取り付けネジで575～635mmまで5mm間隔で調節できます。
キッチン台の高さに合わせて取付けネジの位置で調節してください。(出荷時は625mmの高さに調節しています。)

付属品ストッカーの上に本体を重ねた状態

2 本体と付属品ストッカーの接続

❶本体を付属品ストッカーに載せ、本体および付属品ストッカーからネジと連結金具を外す

本体下面の脚を付属品ストッカーの上面の凹部に合わせて載せ、本体および付属品ストッカーに仮止めされているネジと連結金具を外す

❷本体と付属品ストッカーを連結する

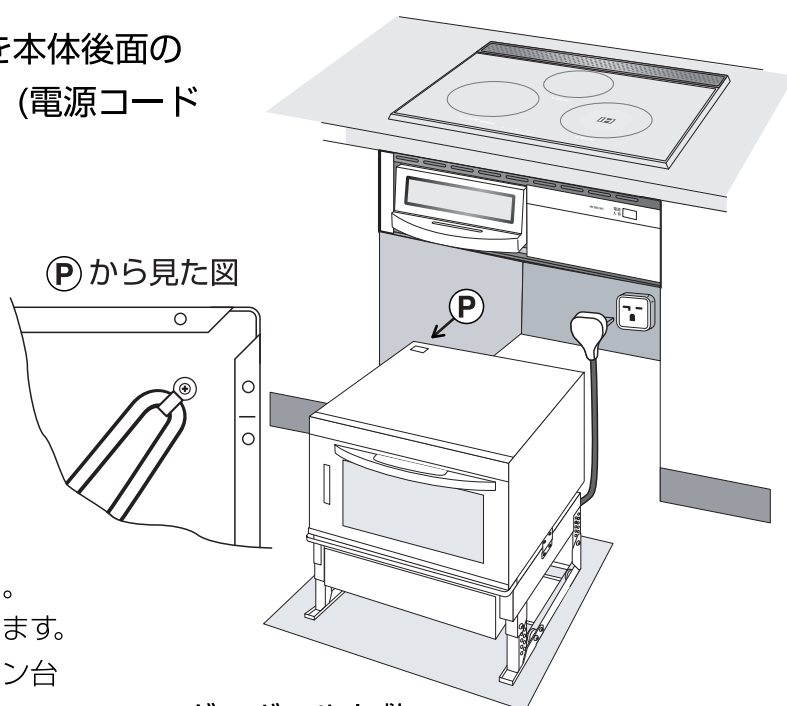
❶で外したネジと付属の連結金具2個を用い、左右各4本のネジで連結します。

3 本体をキッチンに組み込む

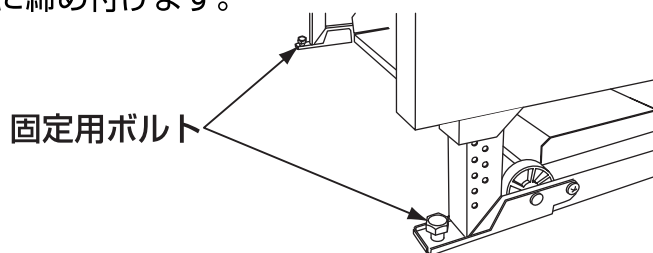
❶差込プラグをコンセントに差し込む。

❷本体をキッチンに近づけ、電源コードを本体後面の左上部についているバンドで固定する。(電源コードの本体下部へのかみ込みを防止)

❸本体前面とキッチン前面がほぼ同一面になるまで押し込む。

お願い

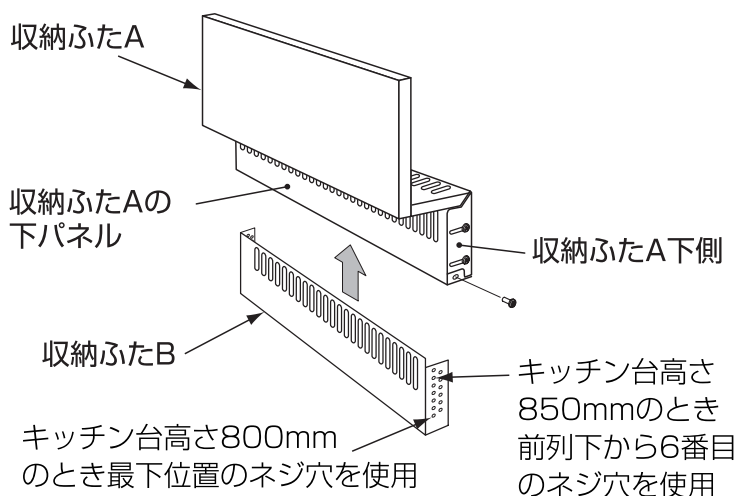
- 押し込むときに、床への傷防止のため、ダンボール等を敷いて行ってください。
- ダンボールは梱包箱の天面に入れてある保護シートが使用できます。
- 固定用ボルトは取り付けないで行ってください。固定用ボルト先端で床に傷をつけることがあります。
- 付属品ストッカー下部のキャスターは、キッチン台への組み込み用です。本体の移動には使用しないでください。床に傷をつけたり、キャスターを損傷することがあります。

4 固定用ボルトで床面に固定する

● 固定用ボルトの先端が床面に多少くい込むまで締め付け、本体の移動防止をします。
機器本体が20～30kg程度の力で前後に動かない程度に締め付けます。

⚠注意

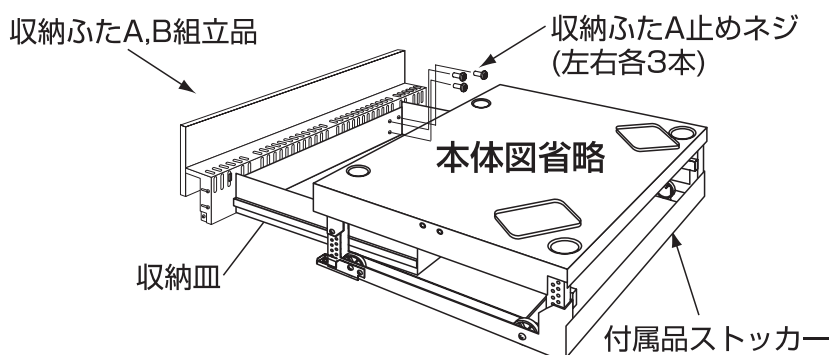
本体を移動する場合は、固定用ボルトを付属品ストッカーの脚部から外す
(床を傷つける恐れ)

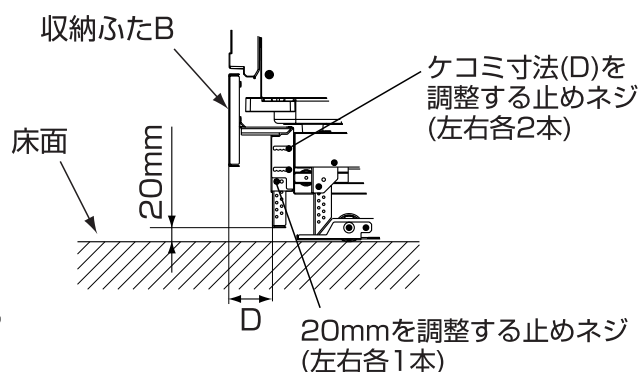
5 付属品ストッカーの組立

❶収納ふたAに収納ふたBを取り付ける

収納ふたB左右端面に止めてあるネジ2本を外し、収納ふたBを収納ふたAの下パネルの内側に差込みます。
外したネジ2本で仮固定する。

❷付属品ストッカーから収納皿を引き出し、前面に収納ふた(A,B組立品)を取り付ける

収納ふたAに止めてあるネジ6本を外した後、前項 ❶ で組み立てた収納ふた(A,B組立品)をストッカー(棚部)に取り付ける。

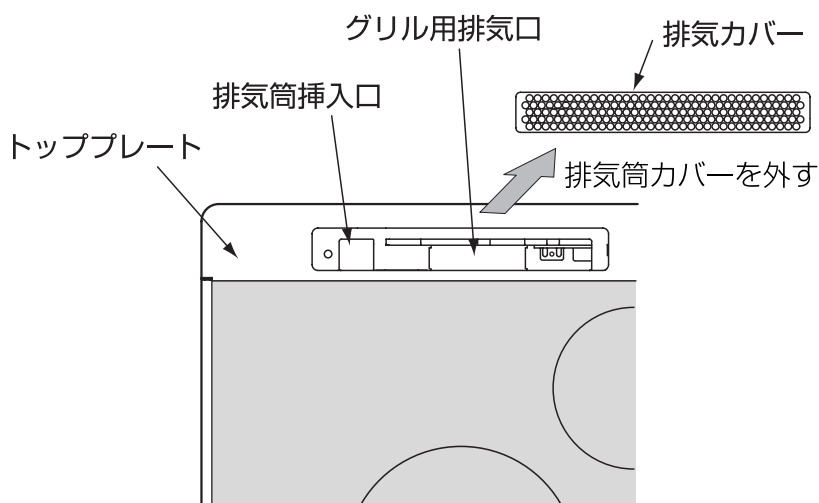
※収納ふたが床やキッチン台と擦れないでストッカー(棚部)がスムースに開閉することを確認してください。

❸収納ふたBと床面とのすき間を20mmに調整

ストッカー(棚部)を閉じたとき、床面とのすき間が20mmとなるように、前項 ❶ で仮止めしたネジを緩めて調整のうえ、締め直して固定します。

❹ケコミ寸法Dの調整

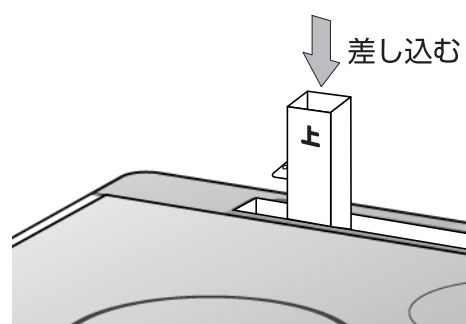
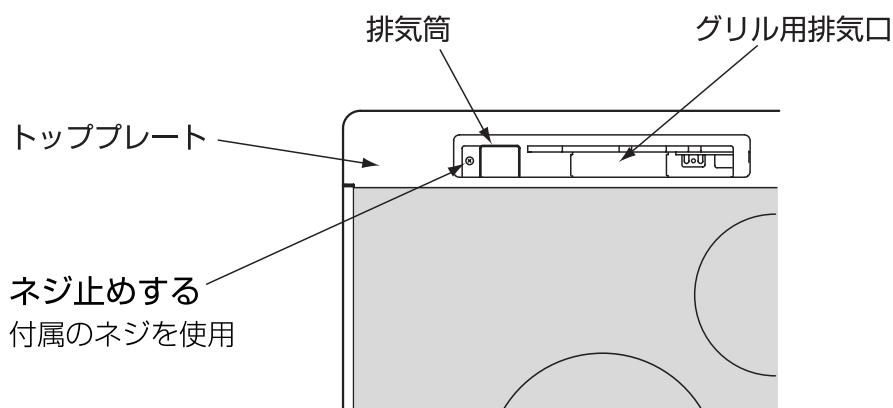
止めネジを緩め、キッチン台ケコミ寸法に近くなるよう収納ふたAの下パネルを前後に調整して、ネジを締めて固定する。

6 排気筒をIHクッキングヒータに接続する

※ IHクッキングヒーターの前面とビルトイン電気オーブンレンジの前面が同一面になっていることを確認してください。

❶ IHクッキングヒーターの吸･排気カバーを外す

❷ビルトイン電気オーブンレンジに付属している排気筒を挿入する

IHクッキングヒーターの排気筒挿入口に、
排気筒の刻印「上」を上にして、挿入します。
(ネジ止め箇所は排気筒左側になります。)

排気筒を確実に取付けないと、熱気や蒸気が
排出されず､異常加熱や故障の原因になります。
排気筒上端がIHクッキングヒーターの排気カバー
に当たらないことを確認してください。

❸ 排気筒を、ネジ止めする

❹IHクッキングヒーターの吸･排気カバーを元に戻す

8.設置工事後の確認

●通電をする前に加熱室内に収納した付属品等を全て取り出し、取扱説明書に従ってテーブルプレートだけをセットします。
●次の手順で確認してください。
ドアを開閉すると、電源が入り表示部に「0」が表示されます。(約10分間操作しないと電源が切れます。再度ドアを開閉してください。)
※ドアを閉じた状態で、ブレーカーを入れただけでは本体に電源が入りません。（待機時消費電力オフ機能が働いているため）

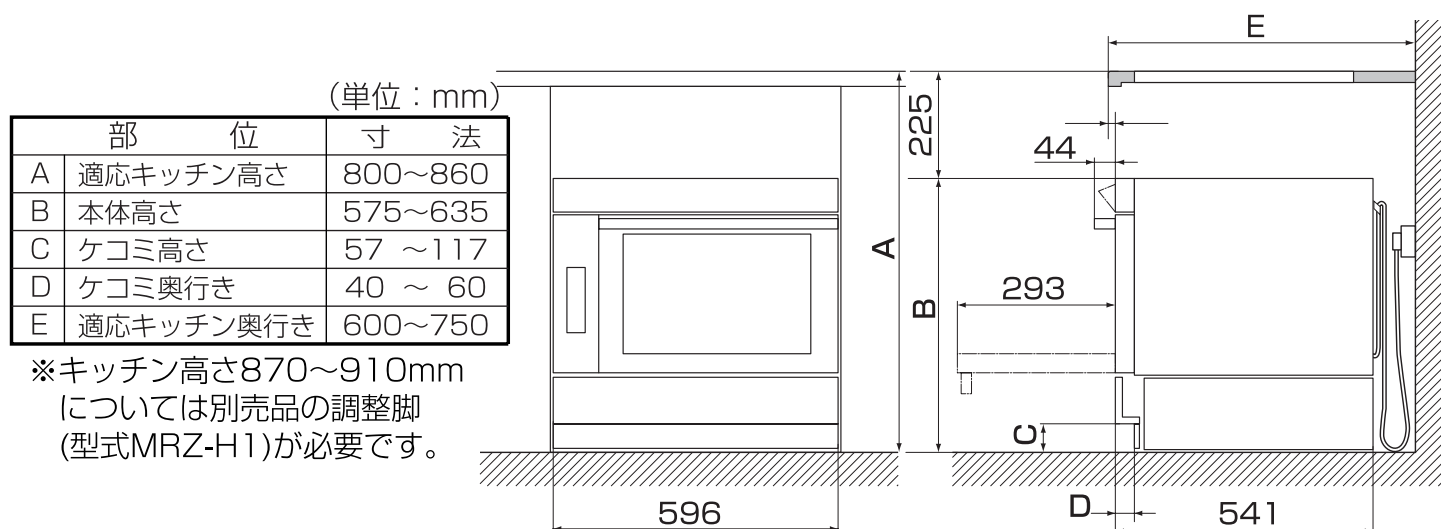
	確　認　項　目	確認欄
梱包材 付属品	①傷、打痕がなく、キッチン扉前面と本体前面が合っていますか	
	②包装材やテープ止めを外しましたか	
	③付属品はそろっていますか	
電気工事	④付属品ストッカーはスムーズに動作しますか	
	⑤アース工事（D種接地工事）をしましたか	
	⑥漏電しゃ断器を設置しましたか	
	⑦差込プラグを接続しましたか。	
	⑧電源電圧は単相200Ｖになっていますか（電圧異常の場合は、「C61」を表示します。）	
試運転	⑨ドアを開閉すると表示部に「0」が表示しますか。表示しない場合は、専用ブレーカー･漏電しゃ断器を確認。	
	⑩ ドアを閉め、「とりけし」キーを3秒間押します。庫内灯が点灯し、約6秒後に消えますか。(グラム･ポジションシステムの0点調節)	
	⑪ コップに半分以上水を入れ、「おこのみ操作 レンジ」で１分程加熱し、水が温まっていますか。	
	⑫ おこのみ操作オーブンで1分程加熱し、加熱室内部が温まっていますか。	
	⑬ 連動運転対応のレンジフードが設置されている場合は、次の方法で連動機能を確認します。	
	(1)レンジフードを停止状態にする。	
	(2)おこのみ操作オーブンで1分をセットして「スタート」キーを押すと、レンジフードが運転しますか。	
	※(3)1分経過後、とりけしキーを押して加熱停止させ、その3分後にレンジフードが停止しますか。	

※床や壁などの状態によっては、連動しない場合があります。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

9.外形寸法図

(単位：mm)

	部　位	寸　法
A	適応キッチン高さ	800～860
B	本体高さ	575～635
C	ケコミ高さ	57　～117
D	ケコミ奥行き	40　～　60
E	適応キッチン奥行き	600～750

※キッチン高さ870～910mm
については別売品の調整脚
(型式MRZ-H1)が必要です。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12　電話(03)3502-2111